

No.13

県央・湘南の 環境と共生する都市づくり NEWS

2005. 7

● みんなで考え、行動する環境共生の都市づくり通信 ●



相模川右岸・平塚市大神地内

目 次

- 2～3P 特集：環境共生都市づくり事業について
- 4～5P ネットワーク型都市圏の形成に向けて ～県央・湘南都市圏における取り組み～
- 6P コラム「新駅に期待する」
- 7P かながわエコ・エネルギータウン友の会が設立されました
- 8P 県央・湘南の魅力再発見／神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

〔 神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会 〕

特集

環境共生都市づくり事業について

県央・湘南都市圏のまちづくり事業において、「自然が有する機能や魅力」、「環境への負荷の低減」、「環境とのバランスのとれた交通計画」及び「地域アメニティの創出」に配慮した環境共生の取組みを促進していくために、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」を平成14年1月1日に制定し、

同年4月1日から施行しています。

この推進要綱では、まちづくり事業における環境共生の取組内容を評価するための指標（環境共生指標）を定めており、この指標に基づき評価した結果、「環境と共生する事業」と認められるまちづくり事業について、事業者と地元市町村、県の三者が「環境共生協定」を締結することとしています。

このたび、次の事業について、推進要綱により協議を行い、環境共生協定を締結し、環境共生都市づくり事業第2・3号として認証されましたので、ご紹介します。



（仮称）寒川町総合図書館新築事業 =環境共生都市づくり事業認証第2号=

寒川町が住民サービスの向上のため、同町の宮山に建設するもので、平成18年秋に開館の予定です。

総合図書館は、鉄骨鉄筋コンクリート造の地上4階地下1階建てで延べ床面積4,707.14㎡の規模で、屋上緑化や雨水貯留槽の採用により、エネルギーや上水道の使用を削減し、CO2排出を抑えています。

○主な環境共生の取組み内容

目 標	主な環境共生の取組み内容
自然が有する機能や魅力	・屋上や駐車場も含めた緑化 ・透水性舗装の導入
環境への負荷の低減	・屋上緑化の導入 ・太陽光発電照明設備の採用 ・再生型資材等を利用 ・雨水貯留槽の設置
環境とのバランスのとれた交通計画	・敷地内に駐車場、駐輪場を確保
地域アメニティの創出	・バリアフリー化



位置図



寒川町・山田町長 神奈川県・松沢知事

環境共生都市づくり事業第2号認証式
(平成17年3月11日)



完成予想図

県営横山団地立替事業 =環境共生都市づくり事業認証第3号=

県営横山団地（相模原市横山）は、築後40年近く経過し、老朽化が進んだことから、神奈川県が順次建替えを行うものです。

開発の規模は49,757.40㎡、鉄筋コンクリート造3～10階建てで、建設戸数は621戸を予定しています。

ここでは、緑地を多く配置するとともに、再生型資材の利用や、省エネルギー型の設備等の導入により、環境と共生する住宅として整備を進めています。

○主な環境共生の取組み内容

目 標	主な環境共生の取組み内容
自然が有する機能や魅力	・豊かな緑地の計画（街路樹等含む） ・透水性舗装を導入
環境への負荷の低減	・再生型資材等を利用 ・無残土工法杭採用 ・防火水槽を雨水貯留施設として活用
環境とのバランスのとれた交通計画	・敷地内に駐車場を確保 ・歩道の設置（透水性舗装）
地域アメニティの創出	・児童遊園、ポケットパーク等の設置 ・バリアフリー化



第1期工事施工中
(平成17年6月撮影)

「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の内容、及び「（仮称）寒川町総合図書館新築事業」と「県営横山団地建替事業」の環境共生の取組みは、下記のホームページでご覧いただけます。



神奈川県県土整備部 県土整備総務課のホームページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/>
環境共生都市づくり事業についてのお問い合わせは
神奈川県県土整備部 県土整備総務課 環境共生都市整備担当
電話 045-210-6036 (ダイヤルイン)
E-mail kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

ネットワーク型都市圏の形成に向けて ～県央・湘南都市圏における取組み～

神奈川県と神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、県央・湘南都市圏の整備に向け、平成12年に「環境と共生する都市づくり基本計画」を、平成14年には、「ツインシティ整備計画」を策定し、都市圏の将来像の一つとして、各都市が相互の連携と機能補完を図り、さらに質の高い生活や諸活動を支える、ネットワーク型都市圏の形成を掲げています。
現在、広域的な交通基盤の整備や、都市圏内における新たな交通システムの実現化の検討など、ネットワーク型都市圏の実現に向けた取組みを進めており、ここでは、その状況についてご紹介します。

さがみ縦貫道路の整備

さがみ縦貫道路は、東京都心から40km～60kmの地点を環状に結ぶ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部を構成する自動車専用道路です。これが完成すると、既存道路の渋滞緩和とともに、県央・湘南都市圏と各地との交流が飛躍的に活性化することが期待できます。

現在、早期供用をめざし、用地買収や本体工事が進められ、一部では高架橋も姿を現しています。

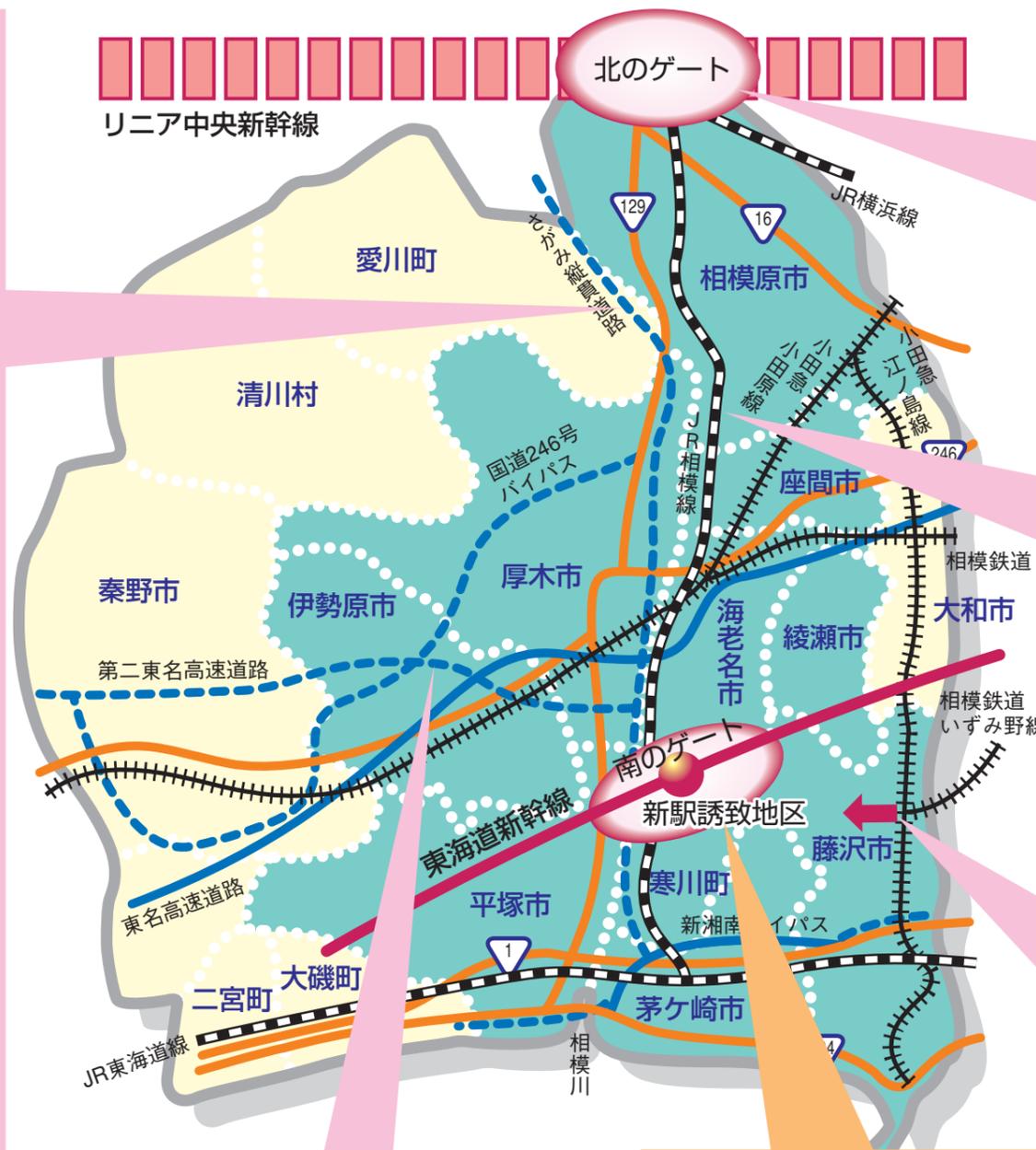


東名高速道路と接続する海老名北ジャンクション付近の様子

第二東名高速道路・国道246号バイパスの整備

第二東名高速道路は、渋滞緩和や災害時の迂回路確保など、現在の東名高速道路と相互に機能を補完する高速自動車国道です。県内では現在、海老名市～秦野市間で積極的に用地買収を行うなど、整備が進められています。

また、渋滞が慢性化している、現在の国道246号を補完するための地域高規格道路として、厚木市～秦野市間で国道246号バイパスの整備が進められています。



リニア中央新幹線の建設促進と駅誘致

リニア中央新幹線は、東京から大阪までを、超電導磁気浮上式リニアモーターカーによって結ぼうとするものです。

この計画は、全国新幹線鉄道整備法に基本計画路線として位置付けられています。

県と県内各市町村等で構成する「リニア中央エクスプレス建設促進神奈川県期成同盟会」では、このリニア中央新幹線の早期実現と、県央・湘南都市圏の北のゲートとなる県内停車駅の誘致に向けた取組みを進めています。



相模線複線化の促進

相模線は現在、茅ヶ崎駅～橋本駅間の全線が単線となっており、また、中間駅のうち7駅で列車のすれ違いができません。

県や沿線市町等で構成する「相模線複線化等促進期成同盟会」では、全線の複線化をめざした取組みを進めていますが、その第一ステップとして、これら7駅のうち4駅について、列車行き違い設備の設置に向けた検討を行っています。



列車のすれ違いが出来ない駅 (写真は香川駅)

いずみ野線のツインシティ方面への延伸

いずみ野線のツインシティへの延伸により、新駅誘致地区は県央・湘南都市圏の南のゲートとしての機能強化が期待できます。

平成16年10月に、学識経験者、国、県、関係市町や鉄道事業者からなる「いずみ野線延伸研究会」を設置し、実現化に向けた研究を進めています。

東海道新幹線新駅の誘致

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、全国各地との交流の窓口として、県央・湘南都市圏の南のゲートとなる東海道新幹線新駅の誘致を進めています。

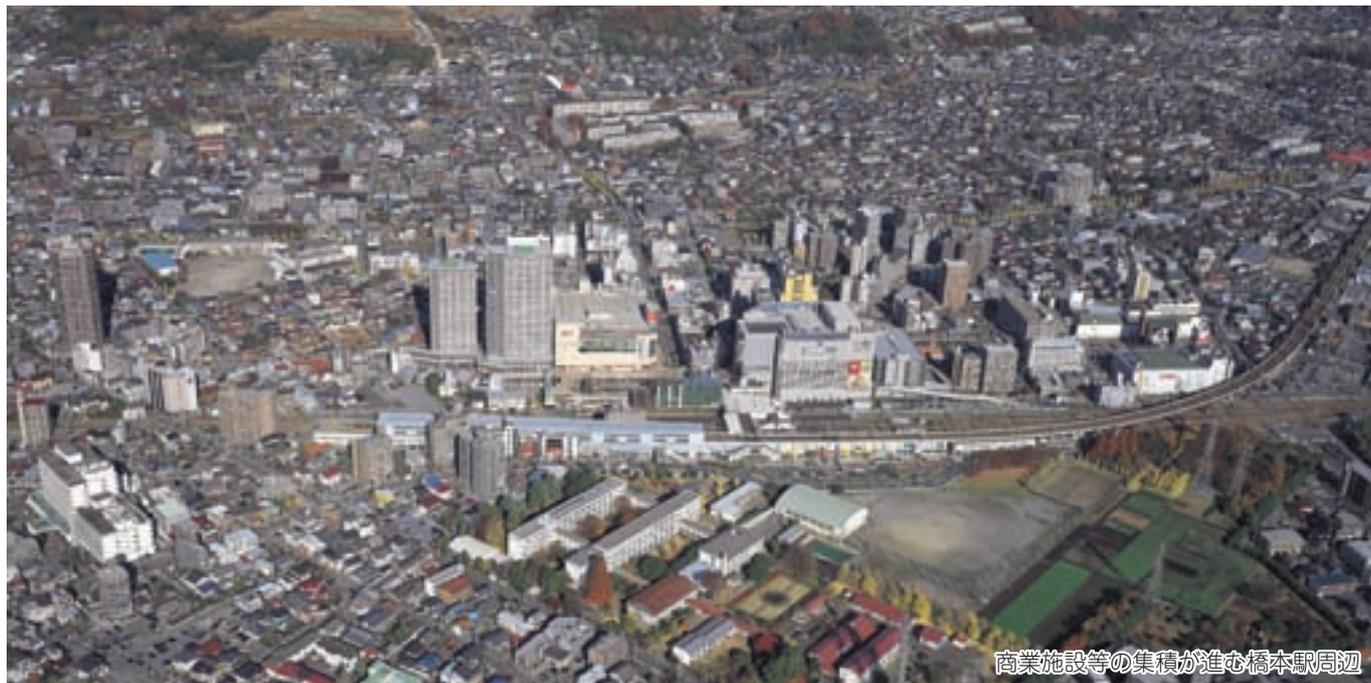
また、その受け皿として、環境共生のモデルとなる都市「ツインシティ」の整備に向けた取組みも進めています。





新駅に期待する

このコーナーでは、県央・湘南都市圏の首長や団体の代表者の方々に新駅等への期待をお話いただきます。



商業施設等の集積が進む橋本駅周辺

相模原市は、昨年市制50周年を迎え、本年は新たな50年のスタートの年にあたります。このため本年度は、「新たな舞台(ステージ)へ 未来を築くまちづくり」をテーマとし、魅力と活力あふれる相模原の実現をめざした取組みを進めているところです。

こうした中、平成15年に首都圏南西部唯一の中核市に移行し、広域交流都市として本市の担うべき役割はますます重要性を増していることから、都市としての自立性を高め、広域交流拠点都市にふさわしい魅力ある都市(まち)とするために、高次都市機能の集積とその適切な連携を図るとともに、高速輸送時代に対応した広域的な交通ネットワークの形成が必要不可欠であると考えております。

県央・湘南都市圏の整備及び「ツインシティ構想」における東海道新幹線新駅(南のゲート)と、リニア中央新幹線駅(北のゲート)を誘致して、全国や首都圏との交流連携の窓口となる2つのゲートを形成することは、地域の産業経済、生活文化などの活性化につながり、新たな波及効果が期待できます。また、これらの2つのゲータをつなぐ南北方向の交通軸である相模線の複線化や、小田急多摩線の市内乗り入れ等の実現にもつながり、地域の交通の利便性が高まるなどの効果も十分期待できます。

このようなことから、今後とも期成同盟会や近隣市町及び関係機関と連携を図りながら、新駅誘致活動を促進するとともに、「ツインシティ構想」の早期実現を願っております。

相模原市のシンボル



相模原市 小川 勇夫 市長



プロフィール

おがわ いさお
昭和6年生まれ
昭和54年4月から神奈川県議会議員。
平成9年1月から相模原市長、現在3期目。
役職として、相模線複線化等促進期成同盟会会長等。
座右の銘は、「啐啄同時(一つの目的に向かって二つの動きが合致すること。)」

「かながわエコ・エネルギータウン友の会」が設立されました

「かながわエコ・エネルギータウン友の会」設立総会が、去る5月28日（土）、横浜市内において開催されました。

「かながわエコ・エネルギータウン」は、ツインシティの都市づくり研究パートナー（企業・団体と行政との研究会）の企業グループによる研究（「戸建て住宅型エネルギー自立街区」の研究）の成果です。これは、太陽光発電と燃料電池を複合したシステムを設置し、各戸のエネルギー需要をネットワークで相互に融通しあうことにより、環境性と経済性を両立した災害に強い住宅街区で、各住宅についても、県産木材を出来るだけ使用してCO₂の排出量を抑え、省エネルギーの実現、シックハウス対策など、健康にも配慮したものです。

企業グループでは、この住宅街区を居住者の参加（コーポラティブ方式）により、神奈川県内での実現をめざしています。



設立総会の様子



「かながわエコ・エネルギータウン」のイメージ

○環境負荷の低減

現行システムに対し、CO₂排出量、NO_x・SO_xの排出量を大きく低減

※現行システム・・・従来型の電気・ガス供給システム

○ランニングコストの削減

現行システムに比べ、光熱費（電気料金+ガス料金）を大きく削減

かながわエコ・エネルギータウンの整備効果

○エネルギー効率の向上

現行システムに対し、1次エネルギー消費量を大きく低減

※1次エネルギー・・・自然界に存在するままの形で加工されない状態で供給されるエネルギー源

○防災性向上

地震等による停電時においても、電気・熱源の供給が可能

【かながわエコ・エネルギータウン友の会】

「かながわエコ・エネルギータウン」の実現に向けた取り組みを進めるためには、多くの方々の協力が必要であり、住む側の立場としての意見や提案を頂くことも大切です。このことから、企業グループが中心となって構成する「研究会」が中心となり、「県民」、「行政」、の三者協働の組織として、「かながわエコ・エネルギータウン友の会」が設立しました。友の会では、平成17年度末を目途に検討結果をとりまとめ、平成18年度中のモデル街区の実現をめざすこととしています。



「かながわエコ・エネルギータウン」と協働研究についてのお問い合わせは・・・

神奈川県 県土整備部 県土整備総務課 環境共生都市整備担当
電話 045-210-6036 (ダイヤルイン) E-mail kankyoku-kyousei.50@pref.kanagawa.jp
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyoku-kyousei/partner/index.htm>

県央・湘南の魅力再発見！

新幹線新駅ができれば、魅力あふれるこの地域を全国の皆さんに発信することができます。今回は、県央・湘南地区の景勝地をいくつかご紹介します。



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月発足）」では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。

去る4月28日、同盟会の平成17年度総会を開催し、新駅誘致と、ツインシティ整備の取組みを引き続き積極的に推進していくことが確認されました。

さらに、同日の総会開催後に、新幹線新駅の寒川町倉見地区への設置について、JR東海に対し要望活動を行いました。



県・市町担当窓口

神奈川県	県土整備部県土整備総務課	045-210-6038(直)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)
相模原市	都市部都市交通計画課	042-754-1111(代)
厚木市	市政企画部広域政策課	046-223-1511(代)
伊勢原市	市長公室企画調整課	0463-94-4711(代)
海老名市	まちづくり部都市計画課	046-231-2111(代)
座間市	企画財政部政策課	046-255-1111(代)
綾瀬市	企画部企画課	0467-77-1111(代)
寒川町	都市部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

発行

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会〔事務局：神奈川県県土整備部県土整備総務課〕
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話：045-210-6038 ファックス：045-210-8879
E-mail：kankyoku-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています